

## 農村工学技術研修の開催

技術移転部技術研修室

### 1. 農村工学専門技術研修（BIM/CIM）の実施

9月9日（水）～11日（金）の期間、参加人数15名（国15名）で実施しました。

本研修は3次元データ等を活用したBIM/CIMに係る専門的知識の習得により、指導的役割を担える技術者としての能力の向上を図ることを目的としており、はじめの2日間はオンライン研修とし、ソフトウェア演習を行う3日目は集合研修のハイブリッド形式で実施しました。

本研修では、国営土地改良事業等における活用ガイドラインの解説、農業農村整備分野における活用事例の紹介、一人一台パソコンを利用したソフトウェア演習等を行いました。

参加した研修生からは「特別仕様書、成績評定の際等に使う知識を学ぶことができた。」「わかりやすくCAD操作を解説してくれたため、理解することができた。」などといった感想が寄せられました。



「BIM/CIM」研修  
ソフトウェア演習状況



「BIM/CIM」研修  
ソフトウェア演習状況

### 2. 農村工学専門技術研修（用水計画と河川協議）の実施

9月10日（木）～9月18日（金）の期間、参加人数29名（国13名、県10名、水資源機構2名、土地連4名）で実施しました。

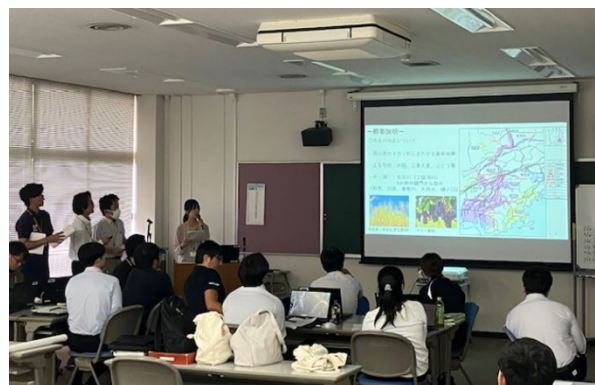
かんがい用水等の取水に必要な用水計画や河川協議に係る専門的知識の習得と事例研究や実践演習により、指導的役割を担える技術者としての能力向上を図ることを目的としており、2週間の研修期間のうち、座学中心の1週目はオンライン研修とし、実習を行う2週目は集合研修で実施するハイブリッド形式で実施しました。

本研修では、河川協議の実務、用水計画の講義及び演習、ワークショップ形式も活用した個別地区の事例研究及び事例発表を行いました。また、河川協議の相手方となる国土交通省の担当官に講義を依頼し、河川管理者の立場から河川協議の実情に関する講義をして頂きました。

参加した研修生からは「国交省の方から説明を受けられることは貴重だと感じた。」「河川協議にあたって、河川管理者側の視点・観点について知ることができ大変有益であった。」「今後、新規地区の計画等で用水計画の見直しを行うことも出てくると思うので、そのときは今回のワークショップを思い出しながら、関係機関と協議を行いたい。」などといった感想が寄せられました。



「用水計画と河川協議」研修  
事例研究状況（グループワーク形式）



「用水計画と河川協議」研修  
発表会状況

### 3. 農村工学専門技術研修（農村計画・地域資源）の実施

9月16日（水）～18日（金）の期間、参加人数36名（国11名、県11名、土地連14名）で実施しました。

本研修は農村計画及び農村の地域資源に係る専門的知識の修得により指導的役割を担える技術者としての能力向上を図ることを目的としてオンラインで実施しました。

本研修では、農村政策全般の取り組み概要をはじめとして、農山漁村の活性化、農泊の推進、農村環境の保全、鳥獣被害対策、農業用ダム・田んぼダムの洪水緩和機能、再生可能エネルギーの開発・利活用など、農村計画・地域資源に関する幅広い内容の講義を行いました。

参加した研修生からは「農村環境の保全に関する法から戦略が体系的に整理されており、大変勉強になりました。」「家畜糞尿を活用した再生可能エネルギーの利活用技術、そのほかヒートポンプや営農型太陽光発電の実証結果等について大変参考になった。」などといった感想が寄せられました。